

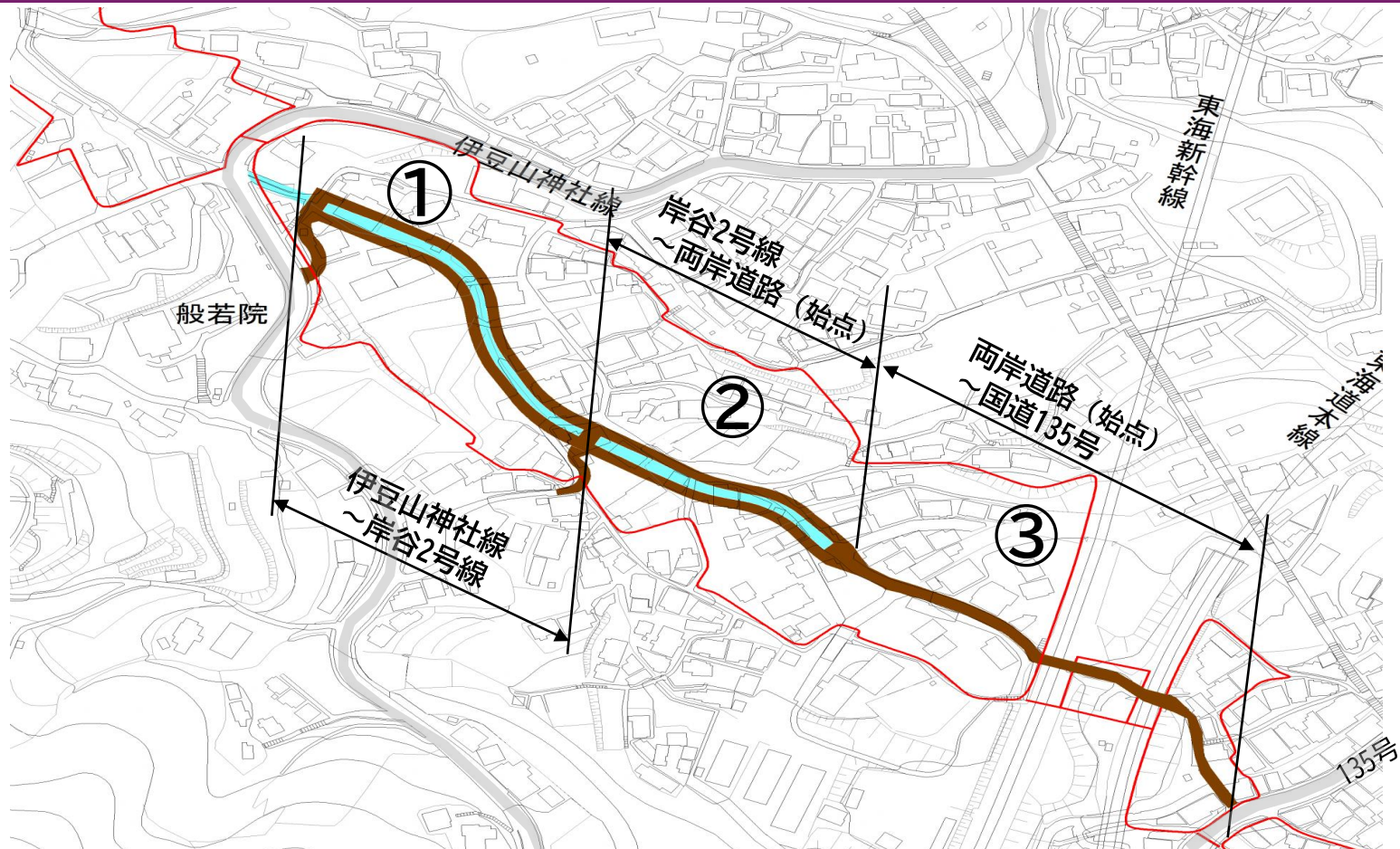
第4回 熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会

【第3回懇話会での意見とその対応について】

令和7年2月6日

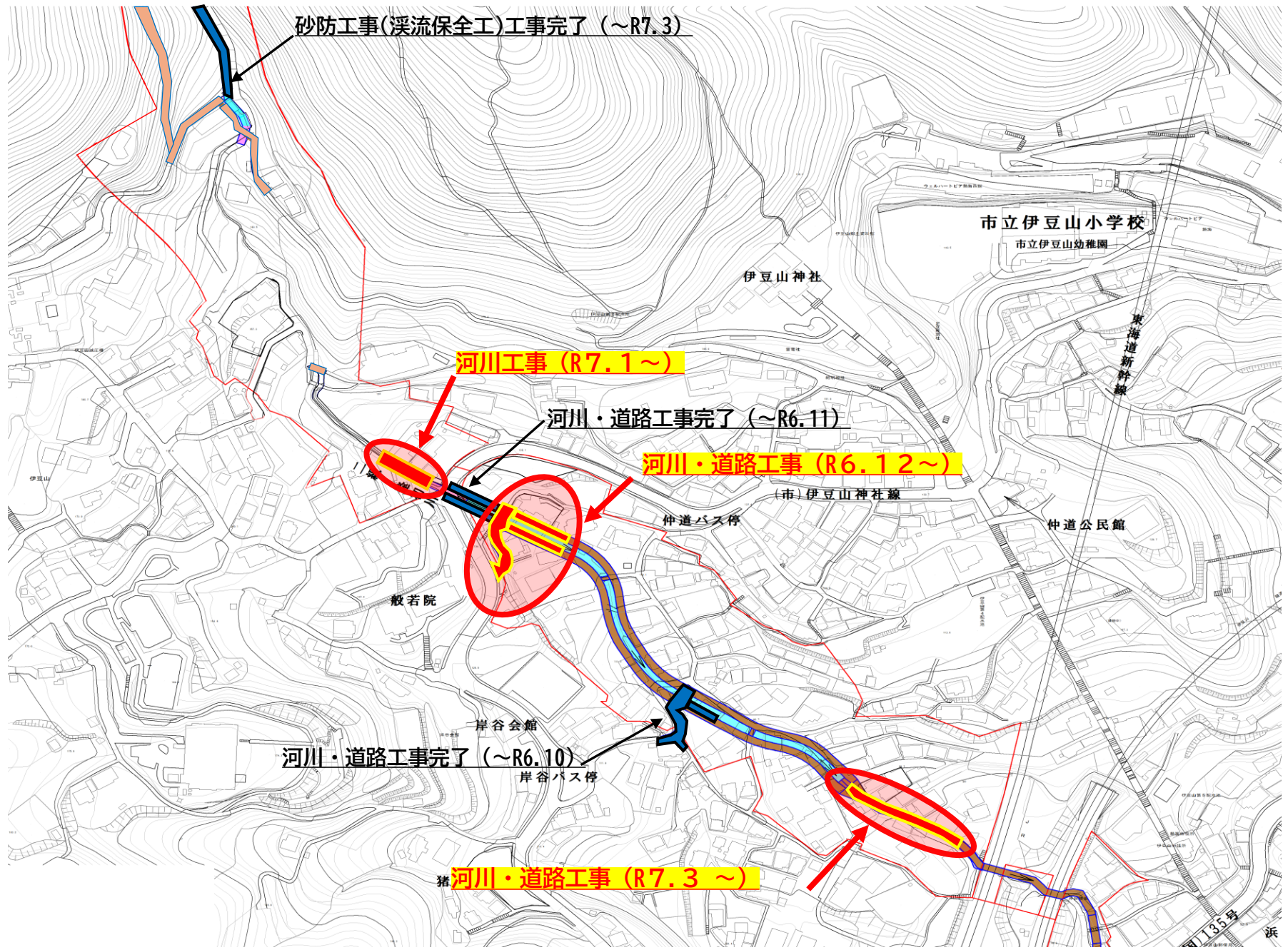
1 「河川工事と道路工事を並行して進めてほしい」

河川・道路事業スケジュール（計画）



	R6	R7	R8
① 伊豆山神社線 ～岸谷2号線	取付道路(神社線)整備		
	道路・河川整備		
② 岸谷2号線 ～両岸道路(始点)	岸谷2号線整備完了		
	道路・河川整備		
③ 両岸道路(始点) ～国道135号		道路・河川整備	

河川・道路事業【令和6年度工事箇所】



逢初川中流部暗渠区間工事箇所

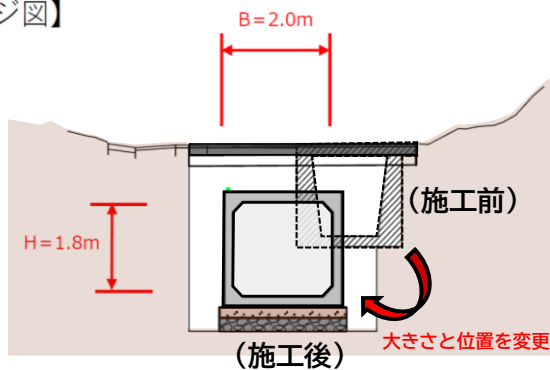


終点(上流側から撮影)



起点(下流側から撮影)

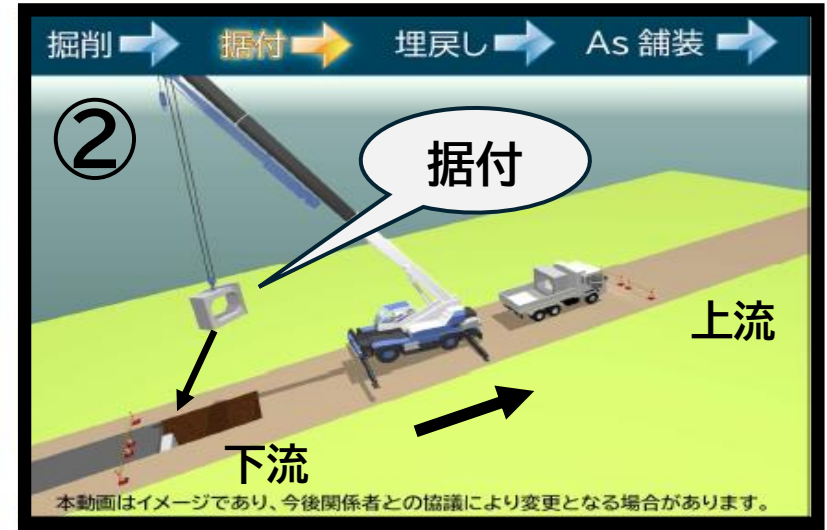
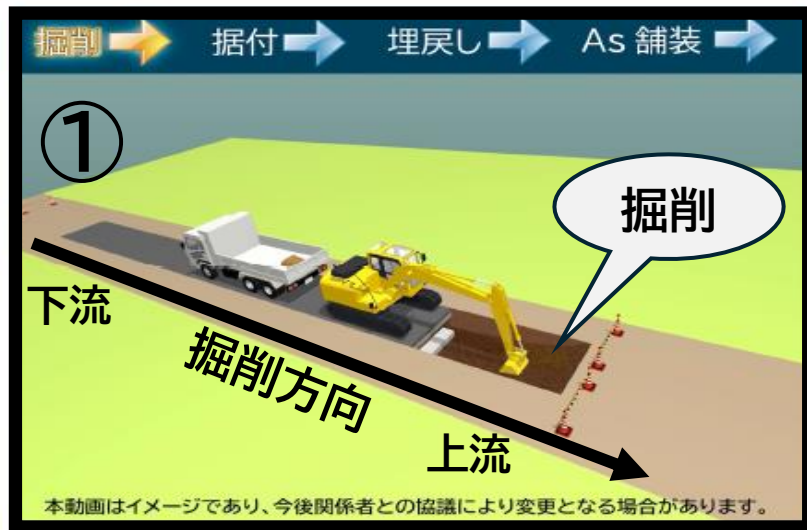
【イメージ図】



上流側から見た断面図

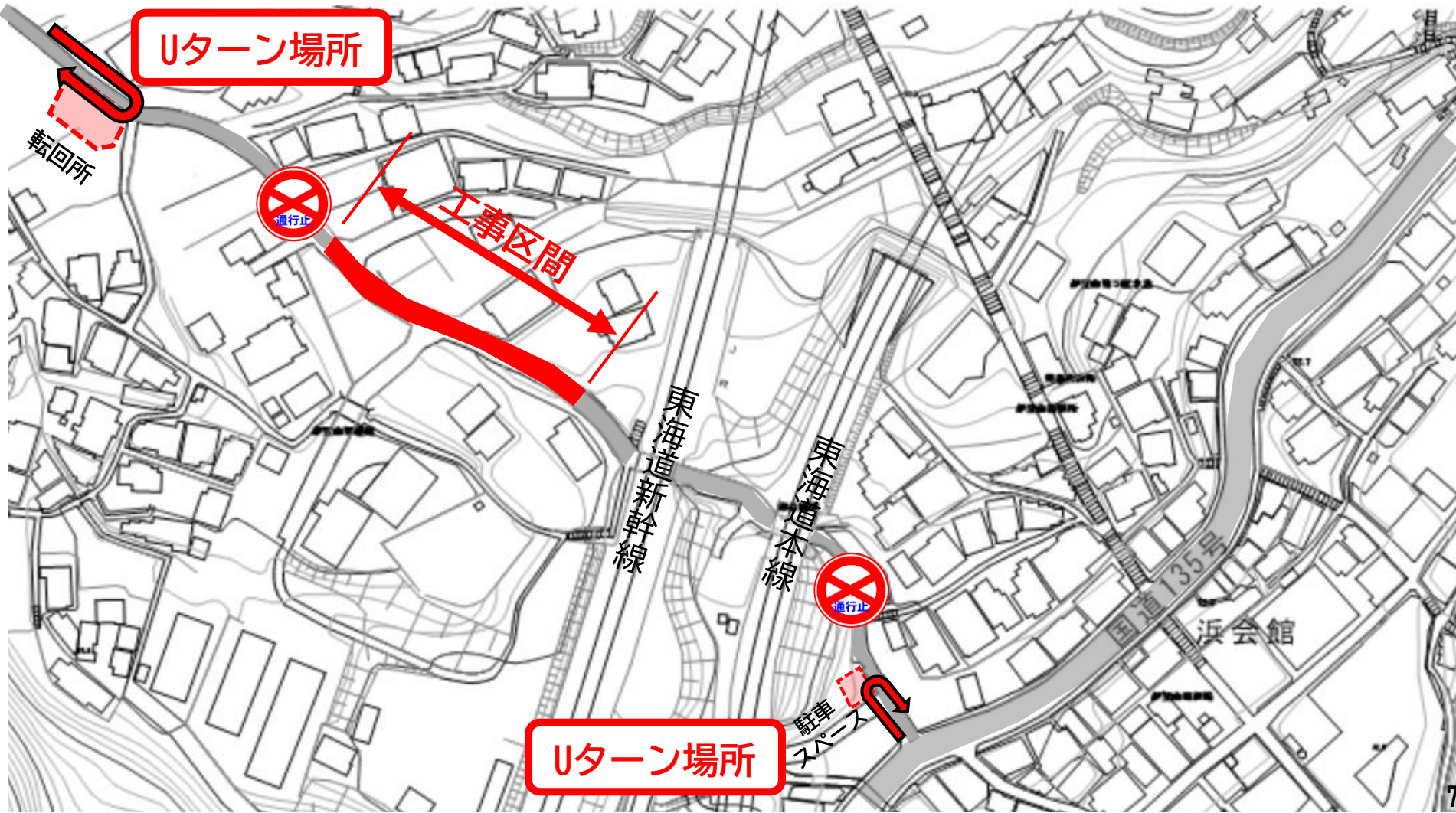


逢初川中流部暗渠区間工事イメージ



(静岡県工事説明会資料参照)

逢初川中流部暗渠区間工事スケジュール



	令和7年度								
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
工事準備	←→								
ボックスカルバート設置工			←→						
後片付け									←→

全面通行止め期間

河川・道路事業【工事实施箇所状況】



河川拡幅工事（完了） 市道伊豆山神社線 R7.1



道路工事（完了） 市道岸谷2号線 R7.1



河川・道路工事 市道伊豆山神社線取付部 R7.1



砂防工事（溪流保全工） R7.1

3 「砂埃対策」

砂埃対策

- 被災地全体が復興事業の範囲であるため、工事期間中・工事箇所周辺に限らず、復興事業完了まで、散水やシート養生等の砂埃対策を実施・継続していくこととしました。

散水実施風景



シート養生実施風景



8 「道路整備により交通量が増えた場合 の対策」

道路整備により交通量が増えた場合の対策



スピード抑制のための道路段差（イメージ）



進入抑制のための看板（イメージ）

←【ハンプ】＝道路を凸型に舗装し、事前にこれを見たドライバーがスピードを落とすことをねらったもの。



スピード抑制のための路面標示（イメージ）

13 「意見交換の場等の拡充」

第3回 熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会【開催概要】

- 前年度末までの復興計画（基本計画・まちづくり計画・事業計画）に基づく各施策の進捗状況を取りまとめ・評価したものについて意見をいただく場として、「第3回熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会」を開催しました。

【概要】

- 日時:令和6年7月31日
14:00~16:00
- 場所:熱海市役所第1庁舎
4階第1・2会議室
- 出席者:委員9名※1名欠席
(座長:齊藤市長)
熱海市、静岡県
- 議題
 - ・第2回懇話会での意見とその対応について
 - ・熱海市伊豆山復興計画における施策の進捗状況について
 - ・意見交換

【委員一覧】

齊藤	栄 (座長)
高見	公雄 (副座長)
當摩	達夫 (連合町内会)
大館	篤 (岸谷町内会)
高橋	一美 (浜町内会)
前田	真弓 (仲道町内会)
太田	かおり (各団体)
大館	節生 (//)
中島	秀人 (//)
原	幸一 (//)

【開催状況】



【主な意見】

- ・被災者や住民が気軽に意見交換できる場をもっと増やしてほしい。
- ・災害から3年経過し、復興に向け、地域活動の再開などの声掛けをしている。
- ・復興事業が、壊れたところを直すだけの事業とならないようにしてもらいたい。
- ・パッションフルーツの栽培を通じ、帰還された方への声掛け等、地域のつながりのための活動を広めたい。
- ・避難訓練等により避難路計画を作成し、避難路の整備を進めてもらいたい。
- ・創造的復興として、国の交付金等を活用し、地域活性化の取り組みをしていきたい。
- ・事業が進む中で、全体としてどういう街にしていこうか考えていくことも重要。

令和6年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別説明会【開催概要】

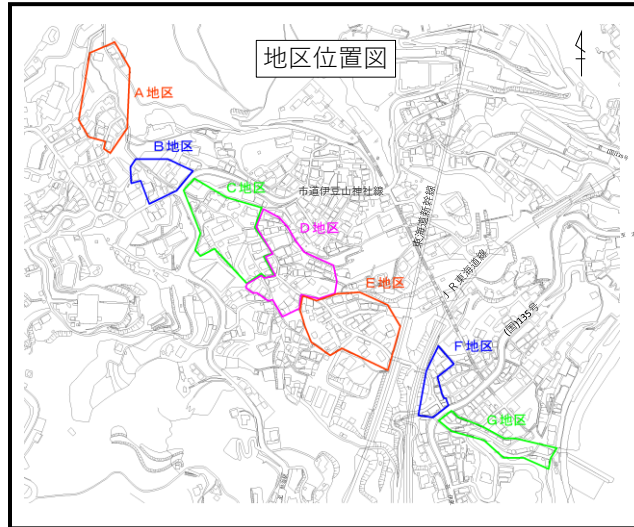
- 逢初川土石流災害における復興事業に関して、被災者の方々の意見を伺いながら事業を進めていくために、被災地区を7地区に分けた「逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別説明会」を開催しました。
- 熱海市と静岡県熱海土木事務所と共同開催しているもので、各事業の状況やスケジュールを説明し、その後、車座座談会として意見交換を行っています。
- 8/20～10/22に6回開催（FG同日）し、計45名の被災者の方が参加されました。

【概要】

- 開催日：8/20～10/22 6回
- 出席者：計45名（33世帯）
- 説明内容：
 - ・河川・道路事業について
 - ・公園緑地事業について
 - ・その他事業について
 - ・車座座談会（意見交換会）

●出席者内訳

E地区：8月20日（火）
出席者9名（6世帯）
D地区：8月27日（火）
出席者6名（4世帯）
FG地区：9月10日（火）
出席者6名（6世帯）
C地区：10月1日（火）
出席者5名（4世帯）
B地区：10月8日（火）
出席者7名（5世帯）
A地区：10月22日（火）
出席者12名（8世帯）



【開催状況】



【アンケート結果】 ※説明会終了後に出席者に任意で回答していただいたものです。

- 評価
 - ・回答者42名
(満足5名、まあ満足30名、やや不満足3名、不満足3名、未記入1名)
- 主な意見
 - ・前向きな意見が多く、行政も聞き入れる姿勢もあり、安心しました。
 - ・工事が予定通り進むことを願っています。
 - ・動画(映像)により、紹介がされ非常に良かった。
 - ・地区別説明会のような形態の会を多く開催して欲しい。
 - ・他の参加者の現況や気持ちが聞けて良かった。

令和6年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる地区別説明会【開催概要】

○開催状況



令和6年度 逢初川流域復旧・復興事業にかかる町内会別説明会(3町内会)【開催概要】

- 逢初川土石流災害における復興事業に関して、被災者の方々の意見を伺いながら事業を進めていくために、「逢初川流域復旧・復興事業にかかる町内会別説明会」を開催しました。
- 熱海市と静岡県熱海土木事務所と共同開催しているもので、各事業の状況やスケジュールを説明し、その後、車座座談会として意見交換を行っています。
- 11/8～11/15に3町内会（浜町内会・仲道町内会・岸谷町内会）で開催し、計19名の方が参加されました。

【概要】

- 開催日：11/8～11/15 3回
- 出席者：計19名（18世帯）
- 説明内容
 - ・ 河川・道路事業について
 - ・ 公園緑地事業について
 - ・ その他事業について
 - ・ 車座座談会（意見交換会）

※地区別説明会と同一の説明内容となります。

【開催状況】



【浜町内会】

- 日 時：令和6年11月8(金)
- 場 所：浜会館
- 出席者：2名（2世帯）



【仲道町内会】

- 日 時：令和6年11月12(金)
- 場 所：仲道公民館
- 出席者：5名（5世帯）



【岸谷町内会】

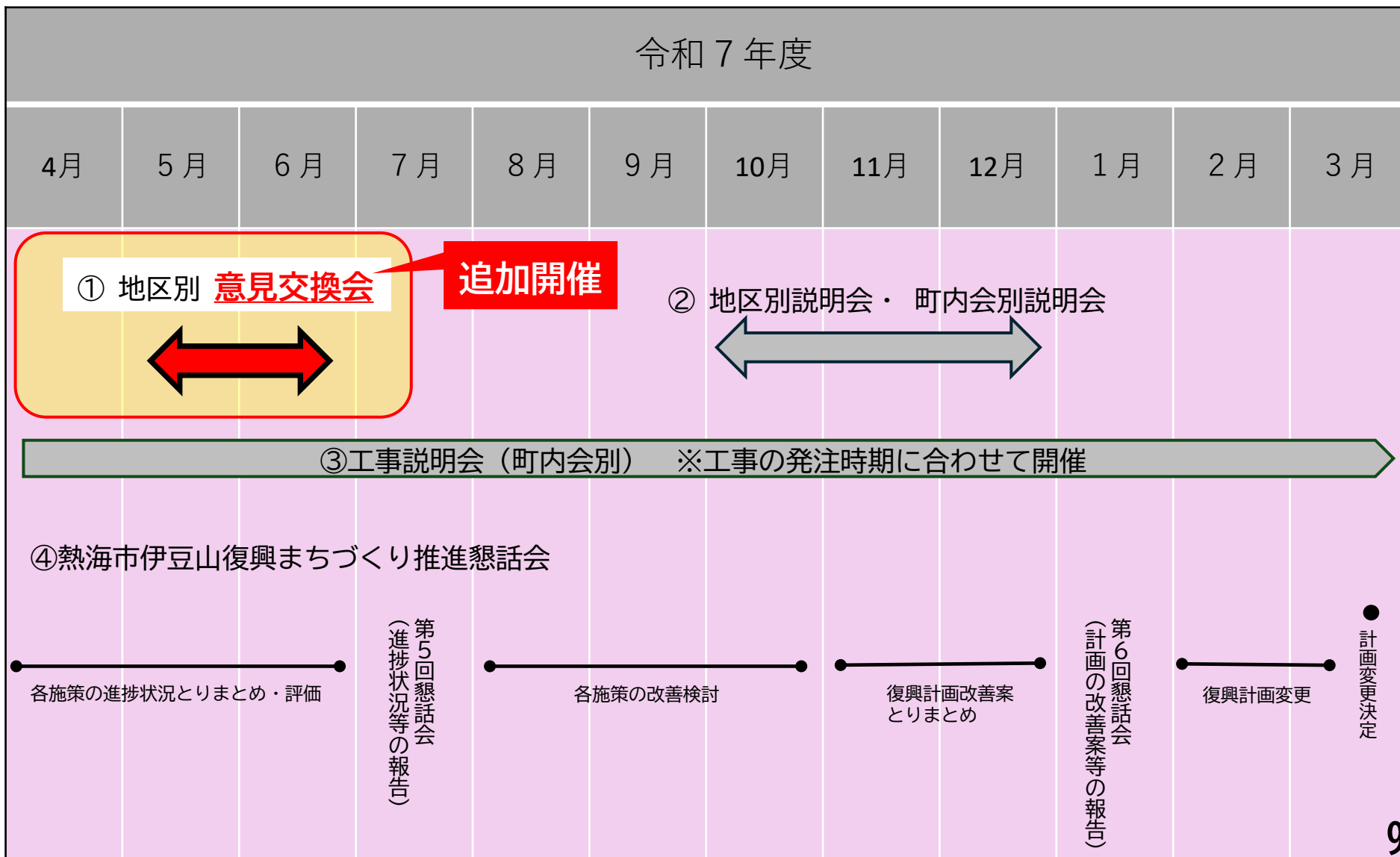
- 日 時：令和6年11月15(金)
- 場 所：岸谷会館
- 出席者：12名（11世帯）

【主な意見】

- ・ 事業を早く進めてもらいたい。
- ・ 少人数なので自分の意見が言えてよかった。
- ・ 全体の工事計画を聞けて良かった。
- ・ 復興で良い土地にしてほしい。
- ・ 工事に影響のある階段などは、生活しやすいように復旧してほしい。
- ・ 市長の説明に納得ができた。この説明会は、大変いい会議だと思いました。
- ・ 未来の伊豆山地域を創る話し合いなので、夢をもっと話し合いたい。地域に住む我々の重要な問題。
- ・ 参加する人が少なかったなので、もっと地域の人に関心をもってもらいたい。
- ・ 伊豆山地区は、お年寄りが多いので公園を子供もお年寄りにも利用できる広場として考えてほしい。

令和7年度 伊豆山復興に関する説明会・意見交換会（案）

- 今年度の開催状況及び各説明会での意見を踏まえ、次年度（R7）より、地区別説明会の単位を集約し、新たに**意見交換会**の追加開催を検討します。



15 「周囲にお住まいだった方々（帰還者・避難者）との交流の場の提供」

16 「帰還された方の不安を解消するためのフォロー」

17 「被災者と市の職員が個別に話せる機会の創出」

「いずさんっち」の活用①

- いずさんっちは、熱海市伊豆山ささえ逢いセンターが、元あいり伊豆農協伊豆山支店で運営している、地域の方や被災者の方たちの交流の場です。
- 毎月第4木曜日に健康体操や温灸体験等のイベントを開催しています。また、第1・3水曜日には野菜の移動販売を行っています。



「いずさんっち」位置図



「いずさんっち」外観

- 空き店舗を活用し、各種イベント開催や野菜の移動販売などをおこなっており、徐々に定着してきています。
- 避難先から戻ってきた人・将来戻ってくる人を含めて、住民がつながれる場所になるよう運営しております。



イベント（笑いヨガ）の様子



野菜移動販売の様子

「いずさんっち」の活用②

- 「いずさんっち」2階のスペースを活用し、被災者や住民の方々が、伊豆山の復興に関して気軽に相談できるよう「伊豆山復興相談会（仮）」の開催を検討しています。
- 復興調整室と被災者支援室の職員（各室1、2名を予定）が月に1、2日程度「いずさんっち」に出向き個別の相談に応じるものです。

【伊豆山復興相談会（仮）開催概要（案）】

- 日 時：令和7年度から毎月1～2回
（曜日や時間は要検討）
- 場 所：「いずさんっち」2階
- 対応職員：復興調整室と被災者支援室の職員
（各室1～2名）
- 対 象 者：伊豆山土石流被災者と地域住民
- 相談内容：伊豆山の復興に関すること
 - ・復興の進捗状況
 - ・復興事業の内容
 - ・生活再建支援 等
- 周知方法
伊豆山復興まちづくり通信、伊豆山情報掲示板、広報あたま、熱海市メールマガジン、熱海市ホームページ、各種説明会 等



個別相談イメージ



「いずさんっち」2階風景

個別相談対応

- 熱海市伊豆山土石流災害からの復興に関する相談窓口として「復興調整室」「被災者支援室」において、気軽に個別相談に応じています。
- 被災者の方の状況に応じて、ご自宅に伺うなど臨機に対応致します。

【被災者支援室】（令和5年4月～）

場所：熱海市役所 総合福祉センター

相談内容：「生活再建支援に関すること」

- 生活再建までの住居支援
- 恒久住宅への引越しの係る費用の支援
- 引越しの係る費用の上乗せ支援
- 住宅再建のための借入れに係る利子助成支援
- 旧警戒区域内の家屋の解体支援
- 国の被災者生活再建支援金の申請受付 等

連絡先：電話番号 0557-86-6212

メール hisaisyashien@city.atami.shizuoka.jp



【復興調整室】（令和5年4月～）

場所：熱海市役所 第1庁舎3F（都市整備課内）

相談内容：「復興事業に関すること」

- 復興計画策定・更新
- 復興事業進捗管理
- 熱海市伊豆山復興まちづくり推進懇話会運営
- 各種事業説明会運営 等

連絡先：電話番号 0557-86-6409

メール fukkou@city.atami.shizuoka.jp



1 8 「避難訓練等により避難路計画を作成し、避難路の整備を進めてもらいたい」

避難路の確保

- 避難路の整備については、既設の市道等を避難路として活用できるよう、照明・誘導看板・梯子等の避難用具の準備を行い、避難経路の確保につなげてまいります。
- 避難計画については、住民の皆様個々に「わたしの避難計画」の作成・普及の支援を実施しています。



避難誘導灯
(イメージ)



設置避難誘導サイン
(イメージ)

「わたしの避難計画」
作成・普及支援
(防災出前講座)



20 「パッションフルーツを伊豆山の名物として広めることについて」

残地利用の検討

- パッションフルーツを伊豆山の名物として広めることについて、道路事業の用地買収等で発生した残地の利用が挙げられます。
- 市民農園やコミュニティガーデンなど、様々な活用が考えられますので他市の事例も参考にしながら、今後、説明会等の意見を踏まえ、検討していきたいと考えています。

事例	市民農園（１）	市民農園（２）	コミュニティガーデン
	千葉県稲城市 HELLO GARDEN	大阪府大阪市 北加賀屋みんなのうえん	兵庫県神戸市 まちなか防災空地事業
写真			
概要	空地を活用し、実験広場としてオープンスペースと実験ガーデンを設置する。実験広場の維持管理にも地域住民が能動的にかかわる仕組みを作ることで、自然などを通じコミュニティ形成の場にもなっている。	地域住民同士のつながる場や機会を作り、コミュニティ形成を作っていくことを目的にしている。北加賀屋の遊休地を活用し、みんなで力を合わせて農園を作り街を元気にすることを目標としている。	密集市街地において、火事の延焼を防止するスペースを確保することを目的に、災害時は一時避難場所や消防活動用地、緊急車両の転回所などの防災活動の場として利用する。平時は、ポケットパークなどとして利用する。
機能	小さな屋外喫茶 実験ガーデン 日替わり本棚 直売所 フリースペース	農園 休憩施設 備蓄倉庫	ベンチ プランター 舗装 防災用広場
効果	GARDENの活動を通じ、イベント参加者として訪れた人が場を作る側に回り、人とのつながりの促進を期待できる。	地域住人による農業活性化 公共空地の活用促進	防災訓練の実施などによる住民の防災意識の向上 訓練参加によるコミュニティの形成強化